

□ 要請番号 (JL02618A13)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
東ティモール	C103 野菜栽培		個別	交替 2代目	2年	・2018/3 ・2019/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

青年・労働担当国務長官府

2) 配属機関名 (日本語)

コミュニティ 開発センター
NGO

3) 任地 (バウカウ県トリロカ) JICA事務所の所在地 (ディリ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約 4.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先はバウカウ地域にある11の生産者によって2003年に設立されたNGO。バウカウ県を中心に、地元農産品や農産物加工品の生産者グループを対象とした研修やサポートを通して地域経済の発展を支援している。現在の主な活動は農産物加工品の生産者の支援と農業研修。農業研修修了者には東ティモール政府認定の終了資格が与えられる。2017年度の予算は約180,000米ドルで、主にフランスやドイツなどのカトリック系NGOから支援を受けている。隊員派遣は2014年に始まり、現在、2代目のコミュニティ開発隊員と初代野菜隊員が活動している。また、ピースコーポランティアも所属し、植樹プロジェクトを支援している。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

産業の発展が遅れている東ティモールでは、自給自足的な小規模農業に従事している人口が多く、政府の政策ともあいまって、農業にかかる今後の期待は大きい。仕事を持たない若者も急増しており、雇用対策という意味でも農業分野への支援は重要であるといえる。

配属先での農業研修は2016年に開始され、現在では6期生が学んでおり、より充実した内容とするため、研修期間は当初の4か月から6か月となった。敷地内にある畑もひろがり、様々な野菜が栽培されている。現地指導員は経験に基づいた指導を行っているが、研修内容や指導技術の更なる向上を目指して、継続した協力の要請となった。現在初代隊員が実際に一緒に指導しながら、循環型農業をめざし、コンポストの作成、新しい作物の紹介、養鶏の導入、栽培マニュアルの作成などを行っている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- ・研修生への栽培実習指導。
 - ・研修内容が充実したものになるよう助言したり、新しいアイデアを提案したりする。
 - ・その他同僚と共にモデル栽培、堆肥の作成、苗床の管理などに取り組みながら、知識や技術の共有を行う。
- 研修科目は専門技術(園芸技術、オーガニック栽培、農業機械・設備について、病虫害、灌漑、家畜飼育、農家実習、仕事としての農業)と、一般教養(国の発展・平和への貢献、職場での心得、ビジネスコミュニケーション、ビジネスマーケティング、数量・サイズについて、英語)に分かれている。
- 現在主に栽培しているのは、トマト、空芯菜、からし菜、オクラ、茄子、ささげ、パパイヤ、スターフルーツ等。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

執務机、ハンドトラクター

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先職員は約20名。
所長50代男性、大卒(教育)、経験30年、副所長40代男性、大卒(土木工学)、経験30年
農場マネージャー1名、農業研修トレーナー1名、アシスタント3名。
一回の研修に参加する研修生は約20名。

5) 活動使用言語

その他

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]： ()

[学歴]： () 備考：

[性別]： (男性) 備考：任地、予定住居を考慮して

[経験]： (実務経験) 備考：実習指導を行うため

[参考情報]：

- ・農業指導経験があると尚良い

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]： (サバナ気候) 気温： (20～32℃位)

[電気]： (不安定)

[通信]： (インターネット可 電話可)

[水道]： (不安定)

【特記事項】

活動や生活では習得が容易なテトゥン語を使用する。